

令和4年度 第3回木更津市文化財保護審議会 審議録

1. 会 議 名 令和4年度 第3回木更津市文化財保護審議会
2. 開催日時 令和5年3月16日（木）～24日（金）
3. 開催方法 書面審議
4. 出 席 者 文化財保護審議会委員 5名
古泉忠之（会長）、高崎芳美（副会長）、笹生 衛、御巫由紀、黒田加奈子
5. 報告事項
第1号 令和4年度木更津市文化財保護行政の概要について
第2号 文化財案内板説明文の内容修正について

審議結果報告

報告事項

第1号 令和4年度木更津市文化財保護行政の概要について

古泉委員

小学校向け金鈴塚古墳配布資料について 木更津市の重要な歴史的財産のひとつとして、市内全小学校が学ぶ場を確保することが極めて大切だと思います。継続した事業として推進してください。

事務局説明

配布後に担任の先生方をお願いするアンケート内容について検討し、改善に努めていきたいと思っています。

笹生委員

標記の内容については、異議ありません。併せて、今後の文化財保護行政の方向性ということで、一点、意見を述べさせていただきます。

平成30年の文化財保護法の改正により、都道府県は、文化財の保護活用の大綱を策定できるようになり、それに沿って市町村では地域計画の策定が可能となっております。

千葉県の大綱と木更津市の地域計画が揃うと、市内の複数の文化財が総合的に保存・活用できるようになり、これに伴う補助事業も受けやすくなるのではないのでしょうか。特に、地域計画を広く周知することで市民に分かりやすい文化財の総合的な保護・活用（ストーリー性を持ち、木更津市の地域・歴史性を明確にした保護・活用）が可能となるように思われます。それは、文化財を通じた木更津の再発見へとつながっていくのではないのでしょうか。

これに関して、木更津市の現時点での見通しや、取り組みがありましたら、御教示ください。

事務局説明

各市町村は、県の文化財保存活用大綱をもとに文化財を活用した地域計画の策定を目指すこととなっておりますが、現在までのところ、本市においては地域計画に関する具体的な取組はございません。近隣市や県内他市町村の状況を注視しながら、研究してまいります。

第2号 文化財案内板説明文の内容修正について

高崎委員

先日、現地に行って確認しました。もし可能であれば、案内板を読んだ時に、合わせて画像が見ることができるといいですね。QRコードに市のホームページを見ることを勧める一文を加えることができれば良いと思います。

笹生委員

標記の内容修正について確認しました。

御巫委員

英文の6行目が構文としてやや違和感があります。たとえば、「Itsukushima Shrine has three sculptures created by Ihachi .」でしたらいいと思いますが。ネイティブの方にご確認ください。

黒田委員

どのような行程を経て翻訳文が作成されたのかは伺っておりませんが、自治体が、費用を使って案内板として長期間掲げるために作成するものですから、正しく文意が伝わる翻訳を作っていただきたいと思いました。

英語訳最後の文章

It is thought that the region's economic power led to a growing trend of decorating temples and shrines with sculptures, and that "Nami no Ihachi" was hired to create them. について、翻訳の誤りをご指摘をいただきました。

事務局説明

本事業につきましては、日本語を示し、ネイティブな方の翻訳までを含めた内容で委託をしております。ご指摘いただいた内容を検討し、英語訳の修正を行います。

今後とも継続いたしますが、ご指摘いただいた点を踏まえ、慎重を期したいと考えております。

上記、令和4年度第3回木更津市文化財保護審議会の書面による審議について、確認したことを報告します。

令和5年3月31日

審議録署名人 木更津市文化財保護審議会

会 長 古 泉 忠 之 印